

少子化による児童生徒数の減少に伴い、地域によって学校の小規模化が進み、児童生徒の教育環境へ様々な影響が懸念

➤令和2年3月 「岸和田市立小・中学校の適正規模及び適正配置基本方針」を策定

令和2年7月 市内8箇所で開催された基本方針市民説明会を実施

【主な説明内容】

- ◆市の現状 ➤児童生徒数はピーク時の約半数に減少、それに伴い学校の小規模化が進行
- ◆適正化の目的 ➤子どもたちのため「より良い教育環境の整備」「学校教育の充実」を目指す
- ◆適正化の方策 ➤「通学区域の見直し」と「学校の統合」により適正化の取組を進める
児童生徒の環境変化や、学校が果たしてきた防災や地域コミュニティ拠点としてのあり方に配慮
- ◆今後の進め方 ➤小規模化による教育環境への影響が懸念される地域から順次適正化の取組を実施
適正化の方策と手順、実施時期等を示した実施計画を策定・公表

【主な意見と市の考え方・回答】

〈意見〉 より良い教育環境を考えるなら、少人数学級を取り入れるべきだ。

〈回答〉 今回の基本方針で示す規模とは学級単位ではなく、学校全体の集団規模のことである。

少人数学級の必要性は理解している。なお、市独自での実施は困難であり、今後も国や府へ要望を重ねていく。

〈意見〉 小規模校では行き届いた教育ができており、規模を大きくする必要性を感じない。

〈回答〉 小規模校にもメリットはあるが、将来子どもたちが社会に出たときに、戸惑うことなく生きる力を育むことも大切。

これからの社会を生きる子どもたちのため、どの学校も一定の集団規模が確保された教育環境を整えていくことが必要。

〈意見〉 小中一貫校の整備も視野に入れているのか。

〈回答〉 小中一貫教育については、学力向上や生徒指導等の教育課題を改善、解消する有効な手段の一つだと考えている。

実施計画（案）策定にあたっては、他市の事例も参考に、一貫教育のメリットやデメリットについて検証し、方向性を判断。

【今後の予定】

令和2年12月 第4回定例会で実施計画（案）を報告

令和2年1月～ 適正化対象校に関わる地域で説明会を実施

保護者や地域住民の不安を解消し、理解を得ながら進められるよう、丁寧な説明と話し合いを行い、適正化の取組を着実に実施していく。